

エボラ出血熱患者への対応

盛岡市立病院 医療支援部
阿部 香奈

エボラ出血熱とは・・・

エボラウイルスによる全身性感染症。
感染症法では1類の感染症に分類されている。



潜伏期間

・・・2～21日

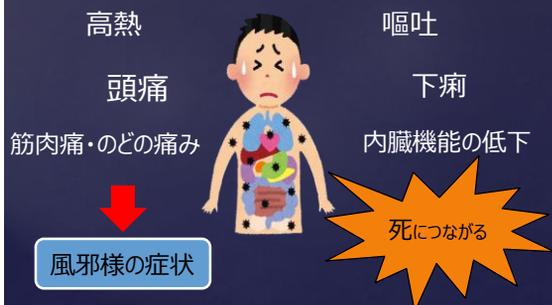
ヒトへの感染経路

・・・ウイルス血症を伴う動物・患者との接触
(血液、唾液、便、精液、涙、母乳等)

治療法

・・・特異的治療法はなし

主な症状



盛岡市立病院の概況

(平成26年4月1日現在)

- ・一般病床 180床
- ・精神病床 80床
- ・感染症病床 8床

計 268床

感染床病棟について

- ・当院は、「**第一種感染症指定医療機関**」である。
(北東北で唯一の受け入れ機関)
- ・感染床病棟 (4階病棟：全8床)
 - 1類対応病床・・・2床 (陰圧個室×2室)
 - 2類対応病床・・・6床 (2床部屋×3室)

1類対応病床について



📌 着脱確認エリア 《オンオフ(DONNING-DOFFING)ゾーン》

…感染性飛沫の付着防止を想定した个人防护具のオン・オフゾーンを確保するため。
拭き取り可能な材質のパーテーションを用いてゾーンを明示し、視覚的に分離する。

1. 个人防护衣の装着方法

装着する前に…

个人防护衣を装着する際には、訓練された
観察者（感染管理担当者）を配置し、指示に従って装着する。



撮影者



観察者（感染管理担当者）

装着する前に…

- ✓ 水分補給・トイレ等を済ませる。
- ✓ 髪をしっかり束ねる
- ✓ 装飾品を外し、軽装になる。

1人分の準備物品



1. ガウン×1
2. 靴カバー×1組
3. ゴーグル×1
4. 手袋×2組
5. N95マスク
6. アイソレーションガウン
(耐水性ディスポーズブルガウン) ×1
7. 外科用フード
8. 使い捨てクローズ×1組
9. 椅子×2脚
10. ゴミ袋、ゴミ箱
11. アルシート×1
12. 擦式消毒液×1

① 靴カバーを装着する



装着後

② インナーグローブを着用する



装着の仕方



1.片手に着用する

2.手袋でもう一枚を取り出し、反対側を着用する

3.着用後

③ ガウンを着る



④ N95マスクを装着する



装着後

装着の仕方



1. 口にあてる

2. 上側のゴムを上げる

3. 下側のゴムを上げる

⑤ 外科用フードをかぶり、アイソレーションガウンを装着する



⑥ゴーグルを装着する



⑦アウターグローブを着用する



⑧装着完了



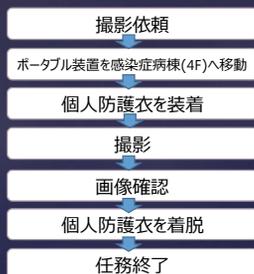
前



後

2. 撮影編

撮影までの流れ・・・



・撮影を行う場合には、技師2名で対応する。

撮影時

・・・個人防護衣を装着した状態の技師が対応する。

画像確認時

・・・技師を1名病室外に配備する。



① 撮影



② 撮影したカセットを技師へ渡す。撮影者は画像確認が終わるまで待機する。



手渡す際には、カセットに被せた上の袋を内側に折りたたんで病室外に待機している技師へ手渡す。



③ 使用したポータブル撮影装置はアルシート等で消毒し感染病室外へ移動させる。



3. 個人防護衣の着脱方法

着脱する前に・・・

個人防護衣を着脱する際も、装着時と同様に訓練された**観察者（感染管理担当者）**を配置し、指示に従って着脱する。



撮影者



観察者（感染管理担当者）

① アイソレーションガウンを取り外す



取り外し方



1. 首の部分を引きちぎる



2. 上半身部分を前に垂らし二つ折りにする



3. 裏面の裾を持ち上げて折り曲げる



4. 裾を持って腰部分まで丸め上げる



5. そのまま前方に引っ張り腰紐をちぎる



6. 小さく丸めて破棄する

② アウターグローブを外す



③ 靴カバーを外す



④ ゴーグルを取り外す



⑤ 外科用フードを外す



⑥ガウンを外す



⑦N95マスクを外す



1. 下側のゴムを外す

2. 上側のゴムを外す

⑧インナーグローブを取り外す

1. 片手で反対側の手首部分を
掴む2. 素手で表面に触れないよう
手袋の内側へ手を入れ外す

感想

- ・防護衣を着用すると蒸し暑い（写真は6月に撮影）
→夏場は大変だと思った。
- ・装着・着脱に時間がかかる。
- ・動きづらい。
- ・実例がないため、各自の役割を確認しておく必要がある。

ありがとうございました。

